

ご利用者の声にお応えした・・・

デイサービス計画書機能



デイサービスの利用者へのケアプラン計画を登録し、プランに対して評価を入れる機能が追加されました！

手書きのまま管理することなく、直接管理画面に入力することでデータとしてすぐ参照できます。

またExcelとして計画・評価とも印刷することが可能です。

デイサービス計画入力画面

デイサービス サービス計画(一般) メニュー画面

掲示板 介護 帳票 体重入力 規模別報酬計算 経過記録 食事形態 送迎グループ 勤務入力 サービス計画

サービス計画(計画)

※サービス計画を編集します。 登録 戻る

※登録すると、既存データは上書きされ、評価は消去されます。

利用者: 有村 和巳 計画作成(変更)日: H30/5/31 計画書適用期間: H29/6/1~H30/5/31 計画作成者: テスト計画者

解決すべき課題	転ばないよう健康で安心して暮らしたい	削除
長期目標	1 転倒せずに安全に移動・移乗を行う	削除
短期目標	転倒や怪我無く過ごすことができる	削除
介護内容	あいうえお	削除
サービス内容	ア 移乗動作は声掛け行い支えて立っていただき、ご本人の動きに応じて安全に支援する。立位が全くできない時は二人で移乗を行う。	担当 <input type="text"/> 削除
+サービス内容		
介護内容		削除
サービス内容	イ 車椅子は見守りのもと自操していただき、施設内を移動できるように見守り声掛けを行う。	担当 <input type="text"/> 削除
+サービス内容		
介護内容		削除
サービス内容	ウ トイレ誘導時は2~3歩歩いていただき、下肢筋力の回復を図る。	担当 <input type="text"/> 削除
+サービス内容		
介護内容		削除
サービス内容	エ 自力での立ち上がりやひとりでの動きに備えコールマットを利用した転倒予防する	担当 <input type="text"/> 削除
+サービス内容		

デイサービス計画評価画面

デイサービス サービス計画(一般) メニュー画面

掲示板 介護 帳票 体重入力 規模別報酬計算 経過記録 食事形態 送迎グループ 勤務入力 サービス計画

サービス計画(評価)

※サービス計画の評価を入力します。 登録 戻る

利用者: 有村 和巳 計画作成(変更)日: H30/5/31 計画書適用期間: H29/6/1~H30/5/31 計画作成者: テスト計画者

課題	長期目標	短期目標	介護内容	サービス内容	評価・達成状況	満足度	継続/変更
転ばないよう健康で安心して暮らしたい							
	1	転倒せずに安全に移動・移乗を行う					
		転倒や怪我無く過ごすことができる					
		あいうえお					
			ア	移乗動作は声掛け行い支えて立っていただき、ご本人の動きに応じて安全に支援する。立位が全くできない時は二人で移乗を行う。			
			イ	車椅子は見守りのもと自操していただき、施設内を移動できるように見守り声掛けを行う。			
			ウ	トイレ誘導時は2~3歩歩いていただき、下肢筋力の回復を図る。			
			エ	自力での立ち上がりやひとりでの動きに備えコールマットを利用した転倒予防する			
			オ	車椅子より立ち上がりやみられるため、常に見守れる位置に移動して、転倒を防ぐ。			

通所介護サービス計画書 印刷レイアウト (Excel)

通所介護サービス計画書						
利用者名	有村 和巳 殿	生年月日		家族連絡先		
居宅介護事業所	ケアプランセンター	担当	山田 太郎	住所		
サービス計画作成者	テスト計画者 印			氏名	(続柄: 1)	
介護計画作成(変更)日	平成30年5月31日			電話		
計画書適用期間	平成29年6月1日	～	平成30年5月31日	利用日	月、水、金	
要介護状態区分	要介護5			認知症高齢者の日常生活自立度	II	
利用者及び家族の意向	<p>本人: どうしたら良いのか自分ではわからないので、皆さんで良いように考えてください。 息子: 自分も歳をとり自分の生活で精一杯なので、老人ホームの方と相談して生活しやすいようにしてください。</p> <p>ホーム相談員: 退院時には再転倒や歩行が不安定な間は、コールマット及び車椅子を貸していただきたい。自宅で生活するのは難しいのでホームで穏やかに生活していただけるよう支援したいと思いますが、ホーム支援員でのケアでは対応できない支援は、介護サービスを導入していただきたい。</p>					
総合的な援助の方針	<p>下肢筋力低下により介護の手間等がかかっているため、訪問介護の調整が必要な時には、随時関係者と協議し介護計画の見直しを行います。下記の項目により支援します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 悩み事を傾聴し意欲的な生活ができるよう関係者と連携を図り支援します。 2. 健康状態が安定するよう定期的に療養指導します。 3. 更衣、排泄、室内の清潔などが、促し等により、自分で保てるように支援します。 4. ADL低下予防、認知機能低下予防のプログラムを提供します。 5. 歩行が不安定な間は、車椅子及び転倒予防のためのコールマットを貸与します。 6. 心身状態や新たな課題が生じた時は、介護計画の見直しを行います。 					

通所介護評価 (モニタリング) シート 印刷レイアウト (Excel)

通所介護モニタリング									
利用者名: 有村 和巳 殿									
生活全般の解決すべき課題	長期目標 平成29年6月1日～	短期目標 平成29年6月1日～	介護内容	サービス内容	担当	評価・達成状況	満足度	継続	変更
転ばないよう健康で安心して暮らしたい	1 転倒せずに安全に移動・移乗を行う	転倒や怪我無く過ごすことができる	あいうえお	ア 移乗動作は声掛けを行い支えて立ていただき、ご本人の動きに応じて安全に支援する。立位が全くできない時は二人で移乗行う。 イ 車椅子は見守りのもと自乗していただき、施設内を移動できるように見守り声掛けを行う。 ウ トイレ誘導時は2～3歩歩いていただき、下肢筋力の回復を図る。 エ 自力での立ち上がりやひとりでの動きに備えコールマットを利用した転倒予防する。 オ 車椅子より立ち上がりが見られるため、常に見守れる位置に移動して、転倒を防ぐ。 カ 人口弁のため足を組んだり激しい運動は避け、脱臼を防ぐ。 キ 体操やゲームなどを通じて楽しみながら手足を動かす機会をもつ。					
2 穏やかな気持ちでホームで過ごすことができる	3-⑩ 息子や家のことを心配しないで安心して生活することができる			ア 意味不明なことを話される時は、話を聞いてあげることや気持ちを落ち着けていただく。 イ レクリエーションやおやつ時間はパブリックで過ごしていただき、他の入所者との交流がもてる。 ウ 通所を利用し、地域の皆さんと会話やゲームなど楽しんでいただく。 エ おしぼりたたみや季節のよもぎ積み、豆の皮むきなど手伝うことで、生活に意欲を持っていただく。 オ ボタンや積み木などお菓子に似たような物を手の届く範囲に置かないようにし、ご本人の好きなおやつなど購入して、興食行為を防ぐ。					
3 昼夜逆転をなくしたい	3 夜間時はぐっすり眠りにつくことができる	3-⑩ 日中は起きて過ごすことができる		ア 日中はできるだけ起きていただき、眠気が強い時は30分ほど横になっていた。					